

1年生



野菜や果物・魚などは、たくさん収穫できる時期と、味のよい時期があり、この2つはだいたい重なっていて、その時期を「旬」といいます。

今では、いろいろな食材が1年中いつでも手に入り、食べることができます。

このことから、生活の中で「旬」を感じることも少なくなりました。

旬のものはおいしくて栄養も豊富です。適した時期に無理なく作ったり、収穫したりできるので、育てる時に使う肥料や農薬も少なくすみ、環境にもいいと言えます。

この時期に毎年、給食ではそらまめを茹でて献立に登場するのですが、そらまめを苦手とする児童が多く見られ、好む児童と全く食べようとしない児童と極端に別れます。今回の授業で、そらまめのおいをかいたり、直接触れてさやおきを体験したりすることで、興味・関心をもってもらい、食べる意欲をもってもらいたいと考えました。

この授業でさやおきをしたそらまめを、給食室で「蒸しそらまめ」を作り、全校児童が給食でいただきました。

自分たちでさやおきをいたそらまめは、いつもよりおいしく感じられたのではないのでしょうか。





